

平成 28 (2016) 年度事業報告

<平成 28(2016)年 4 月 1 日～平成 29(2017)年 3 月 31 日>

事業の実施内容

【公 1】奨学・助成事業

【公 1 (1)】奨学金の貸与

	大学院			大 学			合 計		
	新規	継続	計	新規	継続	計	新規	継続	計
2015 年度	8	2	10	2	3	5	10	5	15
2016 年度	10	8	18	3	4	7	13	12	25
2017 年度	9	10	19	2	7	9	11	17	28

(a) 内容

- ①広島県出身の大学院生、大学生に対し最短修業年限まで学資金月額 5～8 万円を貸与。
- ②2015 年度採用より最短修業年限で修了した者は半額を返還免除。
- ③大学院進学者 10 名、大学進学者 3 名程度を採用。

(b) 2016 年度の状況

- ①2017 年度採用の大学院進学者は秋募集で 6 名、春募集で 3 名を採用。
- ②2017 年度採用の大学進学者は秋募集で 2 名を採用。
- ③新規奨学生を対象に 9 月に奨学生懇談会を開催し 13 名が出席。

【公 1 (2)】東日本大震災被災学生（特別奨学生）への奨学金の給付

	新規採用数	継続	合計	累計
2015 年度	6	13	19	29
2016 年度	3	12	15	32
2017 年度	6	7	13	38

(a) 内容

- ①被災大学生に対し最短修業年限まで学資金月額 10 万円（年間 120 万円）を給付。
- ②2011 年度から事業を開始。制度の運用期間は 10 年間。延べ 40 名に給付予定。
- ③2011 年度は 10 大学、2012 年度より 5 大学、2014 年度より 4 大学へ推薦を依頼。
- ④2020 年度が最短修業年限となるため、2017 年度が最終募集年度。

(b) 2016 年度の状況

- ①2016 年度採用者を 4 月に募集し、6 月に 2 大学の学生 3 名の採用を決定。

【公 1 (3)】アジアからの留学生への奨学金の給付

	新規採用数	出身地	
		中国（大連）	タイ
2015 年度	2	1	1
2016 年度	2	1	1
2017 年度	2	1	1

(a) 内容

- ①広島大学大学院へ留学する中国、タイなどからの私費留学生に学資金を 1 年間給付。
- ②1 人当たり月額 10 万円、年間 120 万円を給付。

(b) 2016年度の状況

- ①2016年度採用として4月に大連の留学生1名を決定。
- ②2017年度採用として12月にタイの留学生1名、4月に大連の留学生1名を決定。

【公1(4)】アジアの学生への奨学金の給付

a. 大連大学

	新規採用数
2015年度	5
2016年度	5

(a) 内容

- ①2016年10月から3年間の奨学金給付に関する協定書を締結。
- ②1人当たり年間5000円(半年に2500円ずつ)を毎年5名に給付。

(b) 2016年度の状況

- ①2016年度の奨学生を10月に募集し、12月に5名の採用を決定。

b. 常州大学、^{フーハイ}河海大学

	新規採用数	大学	
		常州	河海
2015年度	6	3	3
2016年度	6	3	3

(a) 内容

- ①2014年10月から3年間の奨学金給付に関する協定書を締結。
- ②1人当たり年間5000円(半年に2500円ずつ)を毎年、両大学各3名に給付。

(b) 2016年度の状況

- ①2016年度の奨学生を10月に募集し、12月に6名の採用を決定。

【公1(5)】日本からの留学生への奨学金の給付

	新規採用数	大学院生、大学生	
		広島県出身者	府中高校卒業生
2015年度	1	1	—
2016年度	0	0	0
2017年度	3	1	2

(a) 内容

- ①海外留学を希望する広島県出身の理工系、農学系の大学生等に対し学資金を給付。
- ②1人当たり月額10万円を留学期間(6ヵ月から1年まで)に応じて給付。
- ③2016年度採用より広島、早稲田、岡山、京都、大阪大学の5校対象。秋春の2回募集。
- ④2015年度採用より府中高校卒業の大学院生、大学生には大学、学部を問わず募集。

(b) 2016年度の状況

- ①2016年度の奨学生として広島大学大学院生を採用するが、本人が辞退。
- ②2017年度の奨学生として採用した府中高校卒業生2名が、2017年3月末よりベトナム、カナダに留学。

【公1(6)】研究助成

	新規採用数
2015年度	0
2016年度	1

(a) 内容

①広島県出身の理工系の研究者に調査研究費用の一部を給付。給付額は100万円まで。

(b) 2016年度の状況

①広島市在住の海上保安大学校の准教授より申請があり、2016年度研究助成として採用。100万円を給付。

研究課題は「海洋における溶存メタンガス濃度の超高精度計測技術の開発」。

【公2】育成事業

【公2(1)】府中市立図書館への図書寄贈

①2006年度から図書購入費として100万円を寄付。

②2016年度は11月4日に355冊の図書を寄贈。累計で3,708冊。

【公2(2)】ものづくり塾の開催

①2005年度から府中市立府中小学校5年生を対象に、講話や工場見学を実施。

②2016年度は11月16日、17日に実施。94名が参加。

以上